

第2回総合計画審議会の結果について

		ご意見	対応
1 基本構想の構成について	(1)	長久手の現状や今後の課題を記述する必要がある。それにより、市民にも危機感を持ってもらう必要がある。	基本構想の第2章「長久手市をとりまく状況」に、本市の課題を整理し記述しました。 【7～25ページ】
	(2)	「5つの大切なモノ（笑顔・あいさつ・役割・つながり・愛着）」の「モノ」という表現は、物質的なイメージを想起させるため、別の表現が良い。	「モノ」を「視点」という表現に修正しました。
	(3)	7つの分野のうちの「都市整備」については、「整備」とすると今後も開発していくというイメージが強くなるので、別の表現が良い。	「整備」を「経営」という表現に修正しました。
	(4)	7つの分野のうちの「市政運営」は全ての分野に関わってくる分野だと思えるので、それがわかるような見せ方を工夫した方が良い。	基本構想に、分野間の関係性が分かるイメージイラストを記載しました。【42ページ】
	(5)	分野間の関係性が分かる表現ができると良い。	
2 基本目標について	(1)	「3世代以上が住み続けるまちにするためにはどうしたら良いか」という視点が必要。(そのための施策も必要)	ご指摘の視点については、今後の本市のまちづくりにおいて重要と考えるため、基本計画に施策を位置づけていくことを検討します。
	(2)	「産業」がどのカテゴリーに入るかが分からない。	それぞれの分野の中で、コミュニティビジネスや農業といった産業に関連する施策について、基本計画に位置づけていくことを検討します。
	(3)	まちは、個人だけでなく、地域コミュニティや大学、民間企業等、さまざまな組織が折り重なって形成されている。そのことが物語で表現できると良い。	「人づくり」の物語において、主人公が小さいときから「地域コミュニティ」に関わって成長してきた様子を記述しました。 【28ページ】